

# 財務諸表

平成29年度  
(第8期事業年度)

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

## 目 次

貸借対照表	-----	3
損益計算書	-----	4
キャッシュ・フロー計算書	-----	5
損失の処理に関する書類	-----	6
行政サービス実施コスト計算書	-----	7
注記事項	-----	8
附属明細書	-----	11
(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第85 特定の償却資産の減価にかかる会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細	-----	12
(2) たな卸資産の明細	-----	13
(3) 有価証券の明細	-----	13
(4) 長期貸付金の明細	-----	13
(5) 長期借入金の明細	-----	14
(6) 引当金の明細	-----	15
(7) 資産除去債務の明細	-----	15
(8) 保証債務の明細	-----	15
(9) 資本金及び資本剰余金の明細	-----	15
(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細	-----	15
(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	-----	15
(12) (運営費負担金以外の)地方公共団体等からの財源措置の明細	-----	15
(13) 役員及び職員の給与の明細	-----	16
(14) 開示すべきセグメント情報	-----	16
(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	-----	17

**貸借対照表**  
(平成30年3月31日)

【単位:円】

資産の部		負債の部	
<b>I 固定資産</b>		<b>I 固定負債</b>	
1 有形固定資産		資産見返運営費負担金	26,824,946
土地	905,510,550	建設仮勘定見返運営費負担金	0
建物	4,916,071,823	建設仮勘定見返補助金等	0
建物減価償却累計額	△ 507,715,080	長期預り補助金等	2,803,941
建物附属設備	3,057,872,304	資産見返補助金等	1
建物附属設備減価償却累計額	△ 866,850,548	長期借入金	11,760,836,270
構築物	417,496,311	退職給付引当金	47,059,000
構築物減価償却累計額	△ 92,055,939	<b>固定負債合計</b>	<b>11,837,524,158</b>
車両	2,880,418		
車両減価償却累計額	△ 1,042,231	<b>II 流動負債</b>	
器械備品(医療機器)	3,396,528,112	短期借入金	
器械備品減価償却累計額(医療機器)	△ 2,077,395,126	一年以内返済予定長期借入金	761,453,639
器械備品(一般)	151,020,155	医業未払金	930,418,207
器械備品減価償却累計額(一般)	△ 108,738,207	医業外未払金	22,325,232
その他有形固定資産	0	その他未払金	216,270,000
有形固定資産合計	9,193,582,542	仮受金	
2 無形固定資産		預り金	66,011,228
ソフトウエア	0	運営費負担金債務	
その他無形固定資産	0	賞与引当金	80,848,713
無形固定資産合計	0	その他流動負債	
3 投資その他の資産		<b>流動負債合計</b>	<b>2,077,327,019</b>
長期前払費用	0	<b>負債合計</b>	<b>13,914,851,177</b>
長期貸付金	97,746,077		
長期前払消費税	256,143,565	<b>純資産の部</b>	
その他投資資産	14,930	<b>I 資本金</b>	95,235,850
投資その他の資産合計	353,904,572	設立団体出資金(東金市)	70,093,585
<b>固定資産合計</b>	<b>9,547,487,114</b>	設立団体出資金(九十九里町)	25,142,265
<b>II 流動資産</b>		<b>II 資本剰余金</b>	2,517,499,853
現金及び預金	304,046,470	資本剰余金(運営費負担金)	10,550
医業未収金	940,490,829	資本剰余金(補助金等)	3,224,555,754
医業外未収金	8,374,671	損益外減価償却累計額	△ 707,066,451
貸倒引当金		<b>III 利益剰余金</b>	
医薬品	23,872,712	積立金	
診療材料		当期未処分損失	△ 5,702,704,627
前払費用	610,457	(うち当期総損失)	△ 1,329,073,411
仮払金		利益剰余金合計	△ 5,702,704,627
<b>流動資産合計</b>	<b>1,277,395,139</b>	<b>純資産合計</b>	<b>△ 3,089,968,924</b>
<b>資産合計</b>	<b>10,824,882,253</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>10,824,882,253</b>

## 損益計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【単位:円】

営業収益			
医業収益			
入院収益	4,418,879,406		
外来収益	993,281,900		
その他医業収益	202,140,752	5,614,302,058	
運営費負担金収益		551,819,000	
補助金等収益		9,523,403	
資産見返運営費負担金戻入		18,031,471	
雑益		3,793,567	
<b>営業収益合計</b>			<b>6,197,469,499</b>
営業費用			
医業費用			
給与費	3,468,897,907		
材料費	1,434,678,003		
減価償却費	753,909,880		
経費	1,340,061,807		
研究研修費	6,878,238		
たな卸資産減耗費		7,004,425,835	
一般管理費			
給与費	394,379,044		
減価償却費	20,836,719		
経費		415,215,763	
<b>営業費用合計</b>			<b>7,419,641,598</b>
<b>営業利益(△は営業損失)</b>			<b>△ 1,222,172,099</b>
営業外収益			
運営費負担金収益		293,188,015	
寄付金収益		60,000	
財務収益		24,031	
その他営業外収益		34,029,094	
<b>営業外収益合計</b>			<b>327,301,140</b>
営業外費用			
財務費用		129,249,031	
その他営業外費用		304,953,421	
<b>営業外費用合計</b>			<b>434,202,452</b>
<b>経常利益(△は経常損失)</b>			<b>△ 1,329,073,411</b>
臨時損失			
固定資産除却損			
過年度損益修正損			
<b>臨時損失合計</b>			<b>0</b>
<b>当期純利益(△は当期純損失)</b>			<b>△ 1,329,073,411</b>
目的積立金取崩額			
<b>当期総利益(△は当期総損失)</b>			<b>△ 1,329,073,411</b>

## キャッシュ・フロー計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【単位:円】

<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
材料の購入による支出	△ 1,567,603,499
人件費支出	△ 3,775,077,857
その他の業務支出	△ 1,650,781,379
医業収入	5,491,390,862
運営費負担金収入	845,007,015
補助金等収入	7,886,000
預り金の増加額	△ 12,000,818
前事業年度消費税還付金	0
その他	33,933,696
小計	△ 627,245,980
利息の受取額	24,031
利息の支払額	△ 129,249,031
<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 756,470,980</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△ 31,367,970
有形固定資産の売却による収入	0
貸付による支出	△ 37,514,930
貸付の返済分	2,178,714
投資資産の取得による支出	0
運営費負担金収入	0
補助金等収入	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 66,704,186</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	250,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 250,000,000
長期借入れによる収入	1,251,200,000
長期借入金の返済による支出	△ 517,558,957
運営費負担金収入	303,917,085
その他の収入	473,262
その他の支出	△ 4,361,800
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,033,669,590</b>
<b>IV 資金増加額(△は資金減少額)</b>	<b>210,494,424</b>
<b>V 資金期首残高</b>	<b>93,552,046</b>
<b>VI 資金期末残高</b>	<b>304,046,470</b>

**注記事項**

資金の期末残高と貸借対照表科目別の内訳は、次のとおりです。

現金及び預金	304,046,470 円
資金期末残高	304,046,470 円

**損失の処理に関する書類**  
(平成30年5月23日)

【単位:円】

科目	金額
I 当期未処分損失	△ 5,702,704,627
当期総損失	△ 1,329,073,411
(前期繰越欠損金)	△ 4,373,631,216
II 損失処分数額	0
積立金取崩額	0
III 次期繰越欠損金	△ 5,702,704,627

**行政サービス実施コスト計算書**  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【単位:円】

科目	金額	
<b>I 業務費用</b>		
(1)損益計算書上の費用		
医業費用	7,004,425,835	
一般管理費	415,215,763	
営業外費用	434,202,452	
臨時損失		<u>7,853,844,050</u>
(2)(控除)自己収入等		
医業収益	△ 5,614,302,058	
寄附金収益		
受託収入		
その他営業収益	△ 3,793,567	
その他営業外収益等	△ 34,029,094	<u>△ 5,652,124,719</u>
業務費用合計		<u>2,201,719,331</u>
(うち 減価償却充当補助金相当額)		
<b>II 損益外減価償却費相当額</b>		<u>707,066,451</u>
<b>III 機会費用</b>		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用		
地方公共団体出資の機会費用	138,655,897	<u>138,655,897</u>
<b>IV 行政サービス実施コスト</b>		<u><u>3,047,441,679</u></u>

## 注記事項

### I 継続企業の前提に関する注記

#### ① 継続企業の前提に関する重要事象等

当法人は平成 22 年 4 月に地方独立行政法人として設立され、平成 26 年 4 月に急性期病院である東千葉メディカルセンター（病床数 314 床）を開院しました。

当事業年度においては、医業収益は 5,614 百万円を計上しましたが、医業費用 7,004 百万円となり、当期総損失 1,329 百万円を計上し債務超過額が 3,090 百万円となっております。

#### ② 当該状況を解消するための対応策

当法人では、当事業年度に第 2 期中期計画（平成 26 年度～平成 29 年度）を変更し、病床稼働を実態に合わせるなどにより収入を見積もるとともに、材料費・経費等の支出の見直しにより収支状況の改善を図れる計画としました。当該中期計画では、平成 32 年度までに経常収支比率 100%以上が達成できるよう、経営の健全化に向けた具体的な方策の策定や経営指標に関する数値目標の設定など必要な措置を講じております。

#### ③ 重要な不確実性が認められる旨及びその理由

当法人は新病院開院にあたり資本金を財源とせず事業債による借入等を財源とする過小資本の病院として設立されました。

開院後も上記の状況が継続するため、新病院開院当初には避けられない損失の累積とその解消までには相応の時間を要することとなります。

したがって今後において継続企業の前提に関する重要な不確実性が当事業年度においては生じております。このため当法人にとりましては、資本金の増強が今後の継続企業の前提を確保するための最重要課題と認識しております。

#### ④ 財務諸表は継続企業を前提として作成

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映していません。

### II 重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準  
期間進行基準を採用しています。

2. 減価償却の会計処理方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	6	～	47	年
構築物	10	～	40	年
器械備品	3	～	10	年

### 3. 退職給付に係る引当金の計上基準

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター退職手当規程（平成 22 年 10 月 1 日規程第 15 号）が入職後 4 年を経過した職員に対して退職金を給付することとしていることから当該期間までの必要額について引当金を計上しております。

### 4. 賞与引当金の計上基準

次年度以降の職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込み額を計上しております。

### 5. たな卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品 最終仕入原価法に基づく低価法によっております。

### 6. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

#### (1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

東金市行政財産使用料条例に基づき、使用料を算定しています。

#### (2) 地方公共団体出資の機会費用の計算方法

新発 10 年国債の平成 30 年 3 月末利回りを参考に 0.043% で計算しています。

### 7. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。

### 8. リースの会計処理

重要性が乏しい（未経過リース料の期末残高が当該期末残高、有形固定資産及び無形固定資産の期末残高の合計額に占める割合が 10% 未満である）ため、リース取引に関する会計基準の適用指針（企業会計基準適用指針第 16 号）32 を適用し記載を省略しております。

## Ⅲ キャッシュフロー計算書関係

資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	304,046,470 円
資金期末残高	304,046,470 円

## Ⅳ オペレーティング・リース取引関係

該当ありません。

## **V 減損関係**

該当ありません。

## **VI 金融商品関係**

金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金調達については、設立団体である東金市及び九十九里町からの借入により調達しております。資金の用途については、運転資金であり、年度計画に従って資金調達をしております。

## **VII その他重要事項**

該当ありません。

# 附 属 明 细 书

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第85 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細

【単位：円】

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		差引当期末 残高	摘要	
						当期償却額			
有形固定 資産 (償却費損 益内)	建物	3,660,692,776			3,660,692,776	378,063,824	94,515,956	3,282,628,952	
	建物附属設備	3,034,598,103			3,034,598,103	859,758,403	214,939,604	2,174,839,700	
	構築物	359,447,740			359,447,740	72,295,107	18,091,710	287,152,633	
	器械備品(医療機器)	2,414,717,481	201,220,000		2,615,937,481	1,538,860,796	425,400,551	1,077,076,685	
	器械備品(一般)	133,014,295			133,014,295	96,710,319	20,836,719	36,303,976	
	その他	2,880,418			2,880,418	1,042,231	962,059	1,838,187	
	計	9,605,350,813	201,220,000	0	9,806,570,813	2,946,730,680	774,746,599	6,859,840,133	
有形固定 資産 (償却費損 益外)	建物	1,255,379,047			1,255,379,047	129,651,256	32,412,814	1,125,727,791	
	建物附属設備	23,274,201			23,274,201	7,092,145	1,773,033	16,182,056	
	構築物	58,048,571			58,048,571	19,760,832	4,940,208	38,287,739	
	器械備品(医療機器)	780,590,631			780,590,631	538,534,330	134,633,576	242,056,301	
	器械備品(一般)	18,005,860			18,005,860	12,027,888	3,006,972	5,977,972	
	その他								
	計	2,135,298,310			2,135,298,310	707,066,451	176,766,603	1,428,231,859	
非償却資産	土地	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
	その他								
	計	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
有形固定 資産合計	土地	905,510,550			905,510,550	0		905,510,550	
	建物	4,916,071,823			4,916,071,823	507,715,080	126,928,770	4,408,356,743	
	建物附属設備	3,057,872,304			3,057,872,304	866,850,548	216,712,637	2,191,021,756	
	構築物	417,496,311			417,496,311	92,055,939	23,031,918	325,440,372	
	器械備品(医療機器)	3,195,308,112	201,220,000		3,396,528,112	2,077,395,126	560,034,127	1,319,132,986	
	器械備品(一般)	151,020,155			151,020,155	108,738,207	23,843,691	42,281,948	
	その他	2,880,418	0		2,880,418	1,042,231	962,059	1,838,187	
	計	12,646,159,673	201,220,000		12,847,379,673	3,653,797,131	951,513,202	9,193,582,542	
無形固定 資産	ソフトウェア								
	その他								
	計								
投資その 他の資産	長期貸付金	81,154,791	37,500,000	20,908,714	97,746,077			97,746,077	
	長期前払消費税	337,523,517	16,097,600	97,477,552	256,143,565			256,143,565	
	その他	209,330	0	194,400	14,930			14,930	
	計	418,887,638	53,597,600	118,580,666	353,904,572			353,904,572	

## (2) たな卸資産の明細

【単位:円】

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	26,178,570	485,306,121		487,611,979		23,872,712	
診療材料		922,845,352		922,845,352			
貯蔵品(医療消耗備品)		24,220,672		24,220,672			
計		1,432,372,145		1,434,678,003		23,872,712	

## (3) 有価証券の明細

該当事項はありません。

## (4) 長期貸付金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
奨学金	81,154,791	37,500,000	2,108,714	18,800,000	97,746,077	
計	81,154,791				97,746,077	

## (5) 長期借入金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率	返済期限	摘要
平成22年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	847,753,983		29,702,403	818,051,580	1.9%	平成53年 3月20日	土地購入
平成23年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	134,398,994		4,577,849	129,821,145	1.7%	平成54年 3月20日	実施設計 業務委託
平成24年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	1,498,900,000		49,823,310	1,449,076,690	1.5%	平成55年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	2,318,300,000		37,892,149	2,280,407,851	1.6%	平成55年 9月20日	建設工事
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	3,303,000,000			3,303,000,000	1.4%	平成56年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	465,442,381		465,442,381		0.2%	平成31年 3月20日	設備整備費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	600,000,000			600,000,000	0.08%	平成36年 3月20日	運営費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	93,984,335		62,624,905	31,359,430	0.2%	平成31年 9月20日	設備整備費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	25,024,993		12,506,242	12,518,751	0.1%	平成32年 3月20日	設備整備費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	350,000,000			350,000,000	0.08%	平成37年 3月20日	運営費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	321,000,000			321,000,000	0.08%	平成38年 3月20日	運営費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	220,685,224		73,488,210	147,197,014	0.1%	平成33年 3月20日	設備整備費
平成28年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	341,000,000			341,000,000	0.08%	平成38年 3月20日	運営費
平成28年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	350,000,000			350,000,000	0.08%	平成38年 3月20日	運営費
平成28年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	300,000,000			300,000,000	0.08%	平成38年 9月20日	運営費
平成28年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	101,600,000		25,396,191	76,203,809	0.01%	平成34年 3月20日	設備整備費
平成29年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		378,000,000		378,000,000	0.08%	平成39年 3月20日	運営費
平成29年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		126,000,000		126,000,000	0.08%	平成39年 9月20日	運営費
平成29年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		531,000,000		531,000,000	0.08%	平成40年 3月20日	運営費
平成29年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		216,200,000		216,200,000	0.01%	平成35年 3月20日	設備整備費
計	11,271,089,910	1,251,200,000	761,453,640	11,760,836,270			

## (6) 引当金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	15,950,000	67,420,000	34,311,000	2,000,000	47,059,000	
賞与引当金	70,926,879	80,848,713	70,926,879		80,848,713	

## (7) 資産除去債務の明細

該当事項はありません。

## (8) 保証債務の明細

該当事項はありません。

## (9) 資本金及び資本剰余金の明細

【単位:円】

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	東金市	70,093,585			70,093,585	
	九十九里町	25,142,265			25,142,265	
	計	95,235,850			95,235,850	
資本剰余金	資本剰余金	2,620,850,333	303,917,085		3,224,566,304	
	運営費負担金	10,550			10,550	土地取得に係る費用
	補助金等	2,920,638,669	303,917,085		3,224,555,754	
	計	2,920,649,219	303,917,085		3,224,566,304	
	損益外減価償却累計額	△ 530,299,848	△ 176,766,603		△ 707,066,451	

## (10) 積立金等の明細及び目的積立金の取り崩しの明細

## (10)-1 積立金及び目的積立金の明細

該当事項はありません。

## (10)-2 目的積立金の取り崩しの明細

該当事項はありません。

## (11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

【単位:円】

交付年度	期首残高	負担金当期 交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	営業外運営費負担収益	資本剰余金	小計	
平成29年度		1,148,924,100	551,819,000	293,188,015	303,917,085	1,148,924,100	

## (12) (運営費負担金以外の)地方公共団体等からの財源措置の明細

補助金等の明細

【単位:円】

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上
病院群輪番制病院運営事業助成金 (山武郡市広域行政組合)	7,239,000				7,239,000
千葉県防災訓練参加支援事業(千葉県)	47,000				47,000
臨床研修費等補助金(千葉県)	1,007,000				1,007,000
産科医確保等(千葉県)	235,000				235,000
派遣医師人件費補助(千葉県)	995,403				995,403
計	9,523,403				9,523,403

(13) 役員及び職員の給与の明細

【単位：千円・人】

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(600)	(4)		
	20,400	1		
職員	(550,383)	(198)		
	2,627,176	390	5,740	10
計	(550,983)	(202)		
	2,647,576	391	5,740	10

(注1) 非常勤の役職員については、外数として( )で記載しました。

(注2) 役員報酬については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員給与については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員給与規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員の期末手当及び勤勉手当に関する規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員の退職手当に関する規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの任期付職員の採用等に関する規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター派遣職員就業規則」及び「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター非常勤職員就業規則」に基づき支給しています。

(注3) 上記明細には、法定福利費・退職給与引当金・賞与引当金を含めていません。

(14) 開示すべきセグメント情報

該当事項はありません。

## (15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

## (15) -1 現金及び預金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
現金	16,257,694	
普通預金	287,788,776	
計	304,046,470	

## (15) -2 医業未収金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
入院収益	769,399,736	
外来収益	146,349,565	
その他の医業収益	24,741,528	
計	940,490,829	

## (15) -3 医業未払金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
時間外勤務手当	21,754,690	
夜間勤務手当	14,373,286	
宿日直手当	647,700	
救急呼出待機手当	2,800,000	
診療特別手当	28,771,000	
その他手当	683,590	
退職給付費用	5,540,000	
賃金	33,733,561	
社会保険料事業主負担	26,826,232	
共済組合負担金	27,818,644	
薬品費	141,197,659	
診療材料費	433,649,658	
医療消耗備品費	2,916,254	
福利厚生費	134,373	
報償費	450,271	
消耗品費	2,610,868	
光熱水費	12,160,125	
修繕費	2,638,578	
賃借料	22,878,966	
通信運搬費	23,290	
検査委託費	28,702,270	
滅菌消毒・SPD委託費	6,809,086	
給食委託費	10,737,381	
保守委託費	82,289,795	
その他委託料	18,671,385	
使用料	1,167,018	
燃料費	8,024	
研究雑費	90,390	
奨学金費	334,113	
計	930,418,207	

# 決算報告書

平成29年度  
(第8期事業年度)

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

## 平成29年度決算報告書

【単位:円】

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	備考
<b>収入</b>				
営業収益	6,560,000,000	6,054,579,718	△ 505,420,282	
医業収益	5,999,000,000	5,491,390,862	△ 507,609,138	入院収益が見込みを下回ったことによるもの
運営費負担金収益	552,000,000	551,819,000	△ 181,000	
補助金等収益	7,000,000	7,886,000	886,000	
資産見返運営費負担金戻入			0	
資産見返補助金戻入			0	
その他営業収益	2,000,000	3,483,856	1,483,856	
営業外収益	293,000,000	323,661,886	30,661,886	
運営費負担金収益	293,000,000	293,188,015	188,015	
財務収益			0	
雑益		30,473,871	30,473,871	
資本収入	980,000,000	1,557,295,799	577,295,799	
資本金収入			0	
運営費負担金収入	304,000,000	303,917,085	△ 82,915	
補助金収入			0	
長期借入金	676,000,000	1,251,200,000	575,200,000	運営費貸付金の増額(追加支援)によるもの
その他資本収入		2,178,714	2,178,714	
その他の収入		250,473,161	250,473,161	短期借入金によるもの
計	7,833,000,000	8,186,010,564	353,010,564	
<b>支出</b>				
営業費用	6,679,000,000	6,852,183,841	173,183,841	
医業費用	6,426,000,000	6,466,226,242	40,226,242	
給与費	3,238,000,000	3,389,120,258	151,120,258	医師・看護師の増加によるもの
材料費	1,650,000,000	1,567,603,499	△ 82,396,501	価格調整によるもの
経費	1,538,000,000	1,500,761,609	△ 37,238,391	委託職員を院内雇用にしたことによるもの(医事受付・清掃)
その他医業費用		8,740,876	8,740,876	
一般管理費	253,000,000	385,957,599	132,957,599	委託職員を院内雇用にしたことによるもの(医事受付・清掃)
営業外費用	129,000,000	141,278,894	12,278,894	
資本支出	985,000,000	715,690,888	△ 269,309,112	
建設改良費	308,000,000	31,367,970	△ 276,632,030	医療機器の支払を繰り越したことによるもの
償還金	647,000,000	646,807,988	△ 192,012	
その他資本支出	30,000,000	37,514,930	7,514,930	
その他の支出	10,000,000	254,361,800	244,361,800	短期借入金によるもの
計	7,803,000,000	7,963,515,423	160,515,423	
単年度資金収支 (収入-支出)	30,000,000	222,495,141	192,495,141	

(注1)上記の数値は、消費税込みの金額を記載しています。

# 平成 29 年度 事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

## 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

### 1. 法人現況

(1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

(2) 本部の所在地

千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

(3) 設立：平成22年10月1日法人設立

(4) 役員の状況（平成30年3月31日現在）

理事長：増田 政久

理事：石原 照子、澤田 佳成、伊藤 よしみ（非常勤）、篠崎 純（非常勤）、  
生坂 政臣（非常勤）、河野 陽一（非常勤）

監事：白土 英成

(5) 職員数（平成30年3月31日現在）

常勤職員：391人 非常勤職員：198人

### 2. 病院現況

(1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

開院：平成26年4月1日開院

病床数：245床（稼動病床243床）

（救命救急センター（ICU10床（稼動病床8床）・HCU10床）、  
一般183床、地域包括ケア42床）

診療科：20科

医師：103人（常勤52人（臨床研修医2人を含む。） 非常勤51人）

看護師：253人（常勤226人 非常勤27人）

(2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

## 平成 29 年度における全体的な状況

### 第 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 救急医療

- ・救命救急センターとして、脳卒中・急性心筋梗塞・多発外傷・熱傷・急性中毒等の重篤救急患者に対して 24 時間 365 日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入に対応した。
- ・初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとしての役割を担った。
- ・二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、一月あたり夜間 4 コマ（内科系・外科系各 2 コマ）、休日日中 2 コマ（内科系・外科系各 1 コマ）病院群輪番制に参加した。

病院群輪番制参加状況	・山武郡市二次救急医療輪番	一月あたり内科系 2 日 一月あたり外科系 2 日
	・山武郡市休日当番	一月あたり二次内科系 1 日 一月あたり二次外科系 1 日

救急車搬送受入患者数	2,598 人
救急車応需率	77.4%
ウォークイン受入患者数	2,742 人
ドクターヘリ受入患者数	45 人

#### 2 地域の中核病院として担うべき医療

##### (1) 小児医療・小児救急医療

- ・急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療を提供した。
- ・救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療に対応した。

小児科外来延患者数	8,893 人
小児科入院延患者数	972 人

##### (2) 周産期医療

- ・周産期病床において、正常分娩を中心に周産期医療を行った。

分娩件数	295 件
産婦人科外来延患者数	4,498 人
産婦人科入院延患者数	2,731 人

##### (3) 災害医療

- ・地域災害拠点病院としての機能を十分に発揮し、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、医薬品、診療材料、飲料水等を配備した。
- ・メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行った。
- ・DMAT を中心に災害救護を想定した各種訓練に参加した。
- ・千葉大学医学部附属病院の DMAT との連絡体制を整えた。

(4) 感染症医療

- ・結核患者収容モデル病床にて、結核患者に対応した医療を提供した。
- ・H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討した。
- ・新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときは、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行うこととした。

(5) 急性期医療の効率化に必要な病棟運営

- ・地域包括ケア病棟とその他の病棟を計画的に運用し、急性期医療に必要な病床を効率的に運営した。
- ・患者の利益をも考慮した病棟運営ができるよう、地域医療連携室の機能を有効に活用し、積極的な退院支援等の取り組みを行った。

紹介率	51.03%
逆紹介率	73.15%
退院支援患者数	796人

3 高度専門医療

(1) 4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応

① がん

- ・消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院と連携して治療を行った。
- ・がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がんについても対応した。また子宮がん、乳がんについて対応した。
- ・地域におけるがん診療の拠点的功能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定に向けた検討をした。

② 脳卒中

- ・脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療を行った。
- ・急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保した。

③ 急性心筋梗塞

- ・急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供した。

④ 糖尿病

- ・糖尿病患者に対する一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入を行った。

- ・維持透析療法が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保するとともに、重篤な合併症発症時に対応した。
- ・糖尿病の教育と指導を目的とした住民を対象とした糖尿病教室を定期的開催した。
- ・糖尿病患者の自己管理を促進するため、食事療養やインスリン注射の指導を目的とした教育入院を行った。

糖尿病教室開催数                    12回（平均参加者数 25人）

## (2) 高度で専門性の高い医療

### ① 高度な総合医療

- ・入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、新たに皮膚科を開設し20診療科の体制とした。
- ・外来診療については地域医療機関との役割分担のもと紹介や専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。
- ・放射線機器を中心とした医療機器の共同利用を推進した。

医療機器の共同利用件数        22件

### ② チーム医療の推進

- ・それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科、各コメディカル部門との連携による救急医療を提供した。
- ・特に早期リハビリ、NST（栄養サポートチーム）等の分野におけるチーム医療を推進した。

### ③ 高度専門医療の充実

- ・医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、特に脳卒中等の脳血管疾患において、より高度な専門医療体制を構築した。
- ・医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による認定施設の取得をした。

## 4 安全・安心で信頼される医療

### (1) 医療安全対策の徹底

#### ① 医療安全対策の徹底

- ・医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行った。
- ・医療事故発生時には医療事故調査制度等を利用した十分な検証を行い、検証結果を公表するなど医療安全対策を徹底した。
- ・医療安全管理マニュアル等に基づき、医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図った。

#### ② 院内感染防止対策の徹底

- ・感染管理委員会による研修会等の実施や感染対策チームを中心とした院内感染状況の把握、分析、評価を行い効率的な感染対策を行った。

- ・千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンスなど、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底した。また、感染管理認定看護師を専従配置し、対策の充実を図るとともに、加算措置の取得につなげた。
- ・院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処した。

(2) 患者の視点に立った医療の実践

- ・インフォームド・コンセントの取得を徹底した。
- ・患者サービス向上委員会を中心に患者やその家族に対し満足度調査等を実施し、現状を把握するとともに職員の接遇研修等により患者満足度の高い医療の提供を行った。

12月	接遇研修	全体	(第1回)
1月	接遇研修	事務部	(第1回)
2月	接遇研修	全体	(第2回)
3月	接遇研修	事務部	(第2回)
	接遇研修	看護部	(第1回)
	接遇研修	看護部	(第2回)

(3) 医療の標準化と診療情報の分析

- ・クリニカルパス推進委員会を中心に策定した共通及び各診療科ごとのクリニカルパスの積極的な活用により効果的な医療を提供し、治療期間の短縮を行った。
- ・診療情報データを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図るため、DPC制度（診断群分類包括評価制度）の対象病院の認定を目指し、引き続きDPC準備病院に参加するとともに、医療の標準化と診療データの分析・活用を行うための体制を構築した（平成30年4月より移行）。

10症例以上に適用したクリニカルパス数 39件

(4) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

- ・公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和23年法律第205号）をはじめ、関係法令を遵守するとともに、各種マニュアルを見直し、適切な運用を図った。

5 患者・住民サービスの向上

(1) 利用しやすい病院づくり

- ・患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃及び案内の充実について改善を進めた。出入口への車いすの配置等、総合案内や各受付職員を中心に高齢者や障害者が安心して医療を受けられる環境を常に意識し整備を行った。
- ・患者サービス向上委員会を活用し患者や来院者等を対象とした満足度調査を行い、その結果をもとに患者サービスの向上を図った。

2月 患者満足度調査（アンケート）

(2) 患者の待ち時間への配慮

- ・再来受付機、会計番号表示システム及び自動支払機を活用し、窓口業務の効率化を図った。

(3) 患者・来院者の利便性への配慮

- ・患者や来院者の利便性に配慮した売店運営等、効果を確認しつつ充実を図った。また、送迎バスの運行について検討した。

(4) 住民への保健医療情報の提供

- ・医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、多職種による住民対象の公開講座の開催やホームページ、フェイスブック等の活用等により保健医療情報やメディカルセンターの医療内容を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図った。

公開講座開催回数 5回（平均参加者数 50人）

糖尿病教室開催回数 12回（平均参加者数 25人）

(5) 広報活動の充実

- ・ホームページや広報誌（東千葉メディカルセンターNEWS）の発行により、外来案内、入院案内、診療科の開設状況、病棟の開棟に伴う診療情報等をリアルタイムに提供した。
- ・設立団体の広報等を積極的に活用し、センター長のコラムを配信するなど幅広い広報活動を展開した。

広報誌の発行回数 3回

フェイスブック更新回数 46回

(6) 職員の接遇向上

- ・患者や来院者への接遇がメディカルセンターに対する印象を大きく左右することを職員一人ひとりが認識し、思いやりと気配りがあふれ、心落ち着く対応の実現に向けて、全体及び職種ごとに接遇研修を定期的に行った。

全職員向け接遇研修開催回数 2回

職種別接遇研修開催回数 4回

6 地域医療への貢献

(1) 地域医療機関等との連携推進

① 自治体を取り組む地域包括ケアシステムを構成する組織としての取組

- ・自治体を取り組む地域包括ケアシステムを構成する組織として、メディカルセンターとしての役割をふまえ、地域医療機関からの紹介患者の受入れと患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進した。

紹介率 51.03%（再掲）

逆紹介率 73.15%（再掲）

② 地域医療支援病院への承認

- ・地域医療機関等との相互連携を強化する取り組みを行い、紹介率・逆紹介率の向上を図り、地域医療支援病院の承認に向けた準備を進めた。

③ 医療圏の中核病院としての機能の定着化

- ・自治体が行き届く地域包括ケアシステムなどによる機能分化を推進するため、地域医療機関との役割分担を明確化し医療圏の中核病院としての機能を定着化させた。

病診連携懇談会

2回

(2) 保健福祉行政等との協力

- ・千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業や乳幼児健診等の地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図るとともに、特に乳幼児健診やがん検診等に係る精密検査は、地域医療機関との役割分担を明確にした上で実施した。
- ・自治体消防部局と連携し救急救命士の教育・研修の受け入れを行った。医師会については、共同で講演会を開催する等の活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図った。

千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業の予防接種実施件数 2,657件

救急救命士研修の受入人数 64人

医師会共同講演会等の開催回数 11回

(3) 疾病予防の取組

- ・予防医療の一環として、千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業に参加しインフルエンザワクチン等の各種ワクチンの個別接種を行った。
- ・地域中核病院として、人間ドック、健診等の実施について検討した。

千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業の予防接種実施件数 2,657件

7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟

- ・平成29年度は、内科（総合診療科）、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科の20診療科とした。

**第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置**

1 効率かつ効果的な業務運営体制の整備

(1) 効率かつ効果的な業務運営体制の整備

- ・医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと、センター長、副センター長等で構成する執行部会を毎朝開催し、経営等に関する重要課題を審議した。

- ・副センター長や各部門責任者、院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制のもと、全ての職員が目標を認識し、達成するための体制を構築した。
- ・達成状況を把握するため運営会議等において運営情報を定期的に報告した。
- ・中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任者等で構成する自己評価のための組織において、目標達成の進捗管理を徹底して行った。

職員を対象とした運営状況の説明会開催回数 2回

## (2) 人員配置の弾力的運用

- ・患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、必要に応じて医師や看護師等の人員配置の見直しを行うことにより、効率的な業務運営を実施し時間外勤務の削減に努めたが、患者数の増加等により増加となった。
- ・適正な人員配置を考慮し、必要に応じて他の医療機関等との人事交流等を検討した。

時間外勤務時間 前年度比 22%増

## (3) 人事評価制度の導入

- ・職員のモチベーションの向上と組織の活性化及び職員個々の目標の達成度を把握するため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度の導入に向けて、事務部を対象に試行的に実施した。

## (4) 外部評価

### ① 病院経営等の専門家の活用

- ・年度計画に掲げる目標を着実に達成できるよう、外部の病院経営等の専門家による検証を活用し、進捗管理を徹底した。
- ・経常収支・資金収支、医療体制においては、医療需要等の分析・改善等に関する技術的な支援や職員への個別ヒアリング等の手法を用いて必要な見直しを適宜行った。

### ② 監査の活用

- ・監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行うとともにその結果を公表した。

### ③ 病院機能評価等の活用

- ・組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、引き続き病院機能評価等の評価項目による検証を行うための準備を行った。

### ④ 住民意見の活用

- ・住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、サービスの向上を図った。

## 2 人材の確保

### (1) 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携

- 千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による臨床研修医に対する教育が行われた。

### (2) 医師の確保

- 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、診療規模に見合った医師数の確保を行うとともに、協力型臨床研修病院としての環境を整備し、適切に臨床研修医の受入れを行った。

医師数	52 人
臨床研修医の受入れ数	4 人

### (3) 看護師の確保

- 中期計画に基づいた円滑な病床の開床を実現するため、看護師確保対策室による組織的な看護師確保対策を行い、7対1入院基本料等の看護師配置基準の堅持に必要な看護師数を確保した。
- 合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、新規採用者及び中途採用者の確保、研修体制や労働条件等の充実による看護師の定着を図った。
- 城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域における看護師の育成に寄与した。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図った。

合同就職説明会参加回数	3 回
就職説明会実施回数	38 回
看護師採用試験の実施回数	18 回
復職支援研修の実施回数	6 回
奨学生の人数	37 人
看護師数	226 人
(内年度内入職者数	41 人)
看護師定着率	89%
看護実習の受入れ校数	4 校
インターンシップ参加人数	20 人

## 3 人材育成

- 地域の中核病院として十分に機能するため、学会、研究会及び研修会への参加と認定看護師等の職務上必要な資格の取得を計画的に促進した。

- ・医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討した。
- ・事務職員については、診療情報管理士等の必要な資格取得を促進した。

研修会等参加数 120 人

認定看護師資格取得数 1 人

#### 4 働きやすい職場環境の整備

- ・医師・看護師等の職員が業務に精励できるよう各種制度の整備を図った。
- ・医師・看護師等の業務負担軽減のための医師事務作業補助者及び看護補助者を適正配置し体制を整えた。
- ・育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等の取り組みを進めた。

#### 5 職員給与の原則

- ・職員の給与については、診療報酬改定等のメディカルセンターを取り巻く状況と業務実績を踏まえ、弾力的かつ職員の定着を促進するよう給与制度の見直しを行った。

医業収益対職員給与費率 68.8%

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 健全な経営基盤の確立

##### (1) 健全な経営基盤の確立

- ・経営等に関する重要課題を審議する執行部会を中心に、組織全体がコスト意識を持った組織運営を行うとともに、メディカルセンターが有する人材・施設設備を最大限に活用し、経常収支・資金収支の改善を図るべく方策を講じることにより、将来にわたって公的な役割を果たすことができる安定的な経営基盤の確立に努めた。
- ・平成32年度までに経常収支比率100%以上が達成できるよう、経営の健全化に向けた具体的な方策の策定や経営指標に関する数値目標の設定など必要な措置を講じた。

執行部会の開催状況 毎朝開催

職員を対象とした運営状況の説明会開催回数 2回

運営会議の実施回数 22回

経常収支比率 83.1%

医業収支比率 80.2%

##### (2) 経営情報システムの整備

- ・財務会計システム及び人事給与システムは、経営判断や経営管理を行うためのシステムであり、より効率的・効果的な使用するための検討を進めた。

## 2 収益の確保と費用の合理化

### (1) 収益の確保

#### ① 入院収益・外来収益の確保

- ・医療環境の変化に的確に対応し、適切な施設基準の取得による診療報酬の確保を図るとともに、病床利用率の向上や高度医療機器の稼働率向上に取り組んだ。
- ・地域医療機関との連携を図り、紹介・逆紹介の増加を図ることにより、入院患者及び外来患者を適正に確保しつつ、手術数の増加を図った。

#### ② 診療報酬への対応

- ・診療報酬改定に対応した加算措置や施設基準の取得について検討するとともに医療の機能分化やその強化に必要な7対1入院基本料を堅持する等の医療提供体制の整備に努めた。

#### ③ 保険外診療収益の確保

- ・地域中核病院としての安定した病院経営を図った上で、人間ドック、健康診断等の保険外診療収益の確保について検討した。

経常収益	6,525 百万円
入院	病床稼働率（対稼働病床） 84.2%
	平均患者数 199.5 人／日
	診療報酬単価 62,899 円
	平均在院日数 12.4 日
	査定率 0.58%
外来	平均患者数(医科) 332.5 人／日
	診療報酬単価(医科) 12,481 円
	平均患者数(歯科) 27.7 人／日
	診療報酬単価(歯科) 5,265 円
	査定率 0.64%
紹介率	51.03%
逆紹介率	73.15%
高度医療機器の稼働数	MRI 対前年度比 25.4%増

### (2) 費用の合理化

- ・収益規模に応じた予算編成を行い、地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行った。
- ・目標を持った徹底したコスト管理を行うとともに、各委員会等を利用した職員のコスト意識の向上を図った。
- ・透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法、ベンチマーク等の指標を活用し費用の合理化及び節減を図った。
- ・ジェネリック医薬品の採用率を上げ、費用の節減を図った。

経常費用	7,854 百万円
医業収益対材料費率	25.6%
医業収益対経費率	23.9%
医業収益対職員給与費率	68.8%
ジェネリック医薬品採用率	87.6%

#### **第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置**

##### 1 財政負担の原則

- ・財政負担の原則のとおり不採算経費に充当した運営費負担金の額

総 額：551,819,000 円

東 金 市：420,598,000 円

九十九里町：131,221,000 円

- ・長期借入金等元利償還金に充当した運営費負担金の額

総 額：293,188,015 円

東 金 市：228,879,899 円

九十九里町：64,308,116 円

##### 2 地域に対する広報

- ・地域医療連携室の体制強化により地域連携を推進するとともに、平成29年度の医療体制を紹介するパンフレットを作成し広報として情報提供を促進した。
- ・ホームページ、フェイスブック、広報誌(東千葉メディカルセンターNEWS)の発行、公開講座の開催、公共施設や商業施設等を通じた情報発信等により、メディカルセンターの理念や役割、地域医療機関との役割分担をはじめとした病院運営に関する適切な情報を提供し、その普及啓発を行った。

広報誌発行回数 3 回 (再掲)

フェイスブック更新回数 46 回 (再掲)

公開講座開催回数 5 回 (再掲)

糖尿病教室開催回数 12 回 (再掲)

##### 3 ボランティアとの協働

- ・多様なサービス向上につながる地域のボランティアとの協働体制の構築を検討した。
- ・センタープラザや病院敷地内スペース等を活用し、ボランティアによるイベント等を開催した。

丘山地区地域交流「花いっぱい」運動(丘山振興会) 4 回

ロビーコンサート 2 回 9 月「大里合唱団ほか」

12 月「東金混声合唱団、千葉学芸高等学校」

## 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

省略（財務諸表等による。）

## 第6 短期借入金の限度額

250 百万円の短期借入を行った。

借入先：千葉興業銀行東金サンピア支店

発生事由：運転資金等の資金不足への対応

## 第7 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画

平成 29 年度においては、該当する財産の処分はない。

## 第8 前章に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

平成 29 年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。

## 第9 剰余金の使途

平成 29 年度においては、該当する剰余金がない。

## 第10 料金に関する事項

省略

## 第11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

### 1 施設及び設備に関する計画

医療機器等の購入費として 216.2 百万円を借入した。

財源：東金市及び九十九里町長期借入金

### 2 積立金の処分に関する計画

平成 29 年度においては、積立金の処分に関する計画はない。

## 監査報告書

平成 30 年 5 月 28 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター  
理事長 増 田 政 久 様

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター  
監 事 白 土 英 成



私は、地方独立行政法人法第 13 条第 4 項の規定により、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの第 8 期事業年度における業務の施行を監査いたしました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の概要

私は、平成 29 年度監査計画に基づき、理事会に出席するほか、役員（監事を除く。以下同じ。）等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査しました。また、財務諸表、事業報告書及び決算報告について、検討を加えました。

### 2. 監査の結果

- (1) 財務諸表（利益の処分に関する書類を除く。）は、当法人の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に示していると認めます。
- (2) 利益の処分に関する書類は、法令に適合していると認めます。
- (3) 決算報告書は、当法人の予算区分に従って決算の状況を正しく示していると認めます。
- (4) 事業報告書は、当法人の業務運営の状況を正しく示していると認めます。
- (5) 役員の職務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは規程に違反する重大な事実は認められません。
- (6) 平成 29 年度においては、債務超過となるため注記事項に記載した当該状況を解消するための対応策が必要と認めます。
- (7) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター退職手当規程に従い、平成 29 年度の退職給付引当金の処理の変更が適切に行われたことを認めます。

- (8) 債務超過となった要因の一つに新規開設の病院で資本形成において資本金を財源とせず、事業債による借入等を財源とした状況があげられ、避けることのできない損失の累積に対し、解消までには相応の時間を要すると思います。このため資本金の増強が継続企業の前提を確保するための最重要課題と認めます。
- (9) 平成 29 年度に策定した第 3 期中期目標及び中期計画に基づき、収支のバランスを確認しつつ計画を進めていくことが必要と認めます。